

# 再生と変化

# REBORN



特集  
内閣府特命担当大臣を振り返って  
自見 はなこ 議員  
臨床工学技士の未来について  
釜苧 敏 議員

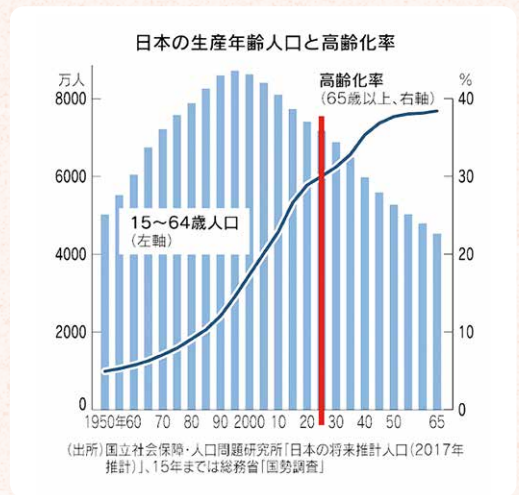


# 謹賀新年

日本臨床工学技士連盟理事長 肥田 泰幸

新しい年、2025年がスタートしました。今年はず支で「巳年」、そして乙巳（きのとみ）の年です。蛇は古くから神の使いとされ、脱皮を繰り返すことから「再生と変化」の象徴とされています。この象徴にあやかり、私たちも柔軟に変化しながら、さらなる成長を遂げる一年にしたいと願っています。

昨年、私たちの連盟は創立10周年を迎えました。10年間の歩みを振り返ると、その歴史は確かな充実感に満ちています。そして、11年目となる本年は、これまでの節目を超え、新たな飛躍の年となることを目指しています。臨床工学技士は、1987年に生命維持管理装置の操作や保守点検を担う医療技術職として誕生しました。医学と工学を融合したその職種は、当時「画期的な医療技術職」として歓迎されましたが、実際には先人たちのフロンティア精神によって業務の領域が広がられてきたという歴史があります。それから35年が経ち、今では生成AIや医療DXといったデジタル改革の言葉が日常的に聞かれるようになりました。しかし、その一方で、人材不足や育成が追いついていない現状も否めません。医療を取り巻く環境は、物価上昇や政策の影響を受け、経済的にも厳しさを増しています。特に、医療費の価格転嫁が政策に依存する現状では、私たち医療従事者は公務員に近い感覚を持つべきなのかもしれませぬ。さらに、日本が民主主義国家である以上、数の力を持つて政策に影響を与えることが求められます。そのためにも、私たち一人ひとりが政治に関心を持ち、行動を起こしていく必要があるのです。これからは人口減と高齢化率の上昇が続きます。しかし、これは私が社会人になった頃から言われていた



ことです。解っていても変えられなかった(変えることができなかった?)のです。今から子供を増やしても、生産年齢人口に達するには20年近くかかります。今の子ども政策は20年後でないと活かされませんので、もう今から20年間は現状を受け止めた形の成長を見出して行かなければなりません。その成長を支える鍵は、デジタル技術にあると私は考えています。35年前の「医学と工学の融合」の理念に立ち返り、これに「情報」を加えた新たな融合の時代へと進むべきです。臨床工学技士は革新を生み出す力を持っています。この力を活かして、臨床と医療機器の保守点検という臨床工学技士の本丸をしっかり守りつつ、新たなテクノロジーを取り入れ、医療の現場や社会全体に貢献する飛躍の年であってほしいと願っています。

最後になりましたが、2025年が皆様にとって健康で幸せな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

「CEの未来を創る、  
すべての人の笑顔を創る」



# 選挙の結果による 臨床工学技士連盟 の行方



2024年10月27日に行われた衆議院議員総選挙では、政権与党である自由民主党と公明党が過半数を維持できず、野党勢力が大幅に議員を増やす結果となりました(与党・野党・他215・250)。そのため、国民民主党などがキャスティング・ボートを握る可能性があり、各党の連携や協力が注目されることとなります。今回の選挙は、投票率53.85%(NHKより引用)と戦後3番目に低く、国民の政治への関心や信頼が問われています。今後の政権運営においては、国民の声を反映した政策の推進と、政治への不信感の回復が求められます。さらに、2025年には再び衆議院議員選挙が行われる可能性も有り得るため、今後の政権運営が注目されています。

現在、「臨床工学技士を支援する議員連盟」(臨工議連)には多数の与党国会議員が参加し、臨床工学技士に関する現状の充実や処遇改善などを目的として活動していただいています。しかし、今回の選挙を受けて臨工議連も厳しい状況が予想されます。臨床工学

技士連盟は、2013年に何もない状態からスタートして地道な努力を続け、2018年に臨工議連(当時は、臨床工学技士の資質向上を求める議員連盟)設立、2020年には初めて加藤勝信厚生労働大臣(当時)への要望申し入れなどの活動に尽力してきました。そして、2021年にタスクシフト/シエアに係る法改正が実現しました。これらの実績も、2013年から諸先輩方が臨床工学技士の職能向上や社会的信頼の確立に力を注いでいただいた結果です。そして、医療従事者全体の1%未満である臨床工学技士の小さな声を実現させるためには、臨床工学技士が団結し、臨工議連との十分な連携・協力することが必要不可欠です。そのため、与党国会議員で構成される臨工議連との関係が、臨床工学技士の今後においても重要なものとなっています。

臨床工学技士と政治は関係ない、臨床工学技士連盟に入会しても意味がない、など様々な声があります。しかし、臨床工学技士連盟と臨工議連が連携・協力して積み重ねている活動の結果は、確実に全ての臨床工学技士に反映されます。反映されるものが大きなものになるか、小さなものになるか、それは現在の臨床工学技士次第です。未来で活躍する臨床工学技士のために、バラバラになっている小さな声をひとつに、同じ方向に向けてみませんか？

## 福岡県支部の 活動状況

### 九州・沖縄ブロック担当理事 福岡記念病院 有田 誠一郎

九州・沖縄ブロック担当理事で福岡県前支部長の有田誠一郎です。今回は、2024年現在の福岡県の活動状況を報告いたします。

福岡県臨床工学技士連盟は、2018年1月1日に発足し、初代理事長として有田が、6年間の活動を実施してまいりましたが、任期満了を期に2024年1月1日から井福武志氏に理事長を引き継いで活動しております。

福岡県臨床工学技士会は2024年度よりワンコイン団体加入に参加しました。

その経緯ですが、2021年から2023年までの2年間は、福岡県臨床工学技士会会員に対して医師のタスクシフト・シエアに伴う業務拡大、ワークチン接種業務、診療報酬における臨床工学技士業務検討などが、「臨床工学技士を支援する議員連盟」の成果である事、その下支えとなる日本臨床工学技士連盟は我々の職種にとって、必要不可欠な団体であることをあらゆる機会(総会、工学会、施設代表者意見交換会、賛助会員意見交換会)に訴えてきました。

その結果、2023年6月4日福岡県臨床工学技士会定時総会審議事項として、技士会の印刷物のデジタル化による費用削減として、当年会費を現状の5,000円から4,500円と値下げする案が承認されました。また、その差額の500円を福岡県臨床工学技士会が日本臨床工学技士連盟会費として代行徴収する案も同時に承認され、晴れて2024年1月から団体加入が実現できた次第です。今後も継続加入をしていく所存です。

福岡県が「臨床工学技士を支援する議員連盟」の事務局長自見はなこ先生、事務局次長鬼木誠先生のお膝元でもあり、日本臨床工学技士連盟理事会が毎回福岡開催であり、意見交換会の場所選定を毎回仰せつかっております。理事の皆様、また福岡にお越しの際には、よろしく願っています。

最後に、2024年の衆議院議員選挙では、鬼木誠氏を応援し事務所に為書を持参いたしました。また比例当選祝いに日本臨床工学技士連盟と福岡県臨床工学技士連盟の連名で、胡蝶蘭を贈呈いたしましたので報告いたします。



# 内閣府特命担当大臣を 振り返って

## 自見はなこ



日本臨床工学士連盟肥田泰幸理事長、日本臨床工学士会本間崇理事長をはじめ臨床工学士の皆様におかれましては、平素より温かいご理解とご支援を賜り誠に有難うございます。昨年9月の内閣改造で内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策・消費者及び食品安全・地方創生・アイヌ施策）、国際博覧会担当大臣を拝命し、1年間の任期を全うすることができましたことにも、重ねて御礼申し上げます。

様々な担務を振り返ると、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催される万博の開催がいよいよ来年に迫っていることへの期待感が大きくあります。「REBORN」を合言葉にして先端医療等を扱う「大阪ヘルスケアパビリオン」の開設、関連イベントとして医療機器・ヘルスケアに関する国際見本市「Japan Health」開催など、臨床工学士の皆様から大きな関心が寄せられているイベントを通じて、イノベーションの喚起や医工学の発展が大きく進むことを夢見て取り組んできた1年間でした。

沖縄及び北方対策、アイヌ政策については、これまで以上に多くの学びを頂くとともに、文化の多様性を守ることや離島の振興などに努めてまいりました。沖縄と北

海道には、琉球・八重山・宮古、アイヌ文化など本州・四国・九州とは異なる素晴らしい歴史と伝統を持っています。それと同時に、国境に位置する地政学的にも重要な地域であり、わが国固有の領土である国後島、択捉島、色丹島、歯舞諸島はロシアによる不法占拠状態が続いています。故郷を追われた島民の皆様が寄り添い、国家主権とは何かという大きな課題と向き合う日々でした。また、アイヌ文化についても、北海道アイヌ協会の皆様を中心に多くの方々

に教えを頂きながら取り組んでまいりました。沖縄県は、わが国で唯一の地上戦の舞台となり、その後の米国統治を経て1972年の返還、そして現在も多くの米軍基地を抱えている歴史に向き合い、地元の皆様のお声をしっかりと受け止めて予算・税制等の振興策に努めてまいりました。大臣退任後も、これらの政策に取り組んでいかなければならないという強い決意であります。

消費者および食品安全についても、医師として大きな関心をもって取り組んだ政策分野です。とりわけ、任期中に紅麴を含む健康食品による健康被害があり、機能性表示食品制度の見直し等の対応を武見敬三厚生労働大臣と緊密に連携しつつ行いまし

た。健康食品やサプリメントについては、消費者の皆様のリテラシー向上など、より一層の取組が必要であると感じております。そのほか、食品ロス削減や悪質ホスト対策など時事的に関心の高い政策テーマが多い分野であり、緊張感をもって日々の業務に当たってまいりました。

そして、人口減少・東京一極集中というわが国が抱える最重要課題の一つに対処すべく10年前に立ち上がった地方創生も担当大臣として担わせていただきました。ちょうど10年という節目で、これまでの総括を内閣府が発表しました。そこでは、一定の成果を上げられた地域もある一方で、国全体では人口減少・東京一極集中などの大きな流れを変えるには至っておらず、地方が厳しい状況にあることを重く受け止める必要があると総括しています。こうした現実を踏まえつつ、いかにして事態を改善させていくべきか、難しい舵取りでした。

全国の首長や地方議員のお話を伺いつつ予算・税制に反映させるよう努め、骨太の方針においても、「地方創生の新展開」という文言が入り、「人口減少、東京一極集中、地域の生産年齢人口の減少や日常生活の持続可能性の低下等の残された課題に対応するため、女性・若者にとって魅力的な地域づくり等地域の主体的な取組を、伴走支援を含めて強力に後押しし、国民的議論の下、強い危機感を持って地方創生の新展開を図る」と盛り込むことができました。私

の大臣退任後、初代地方創生担当大臣であった石破茂総理のもとで地方創生予算

倍増が掲げられ、伊東良孝大臣にバトンタッチをいたしました。今後も議会の立場から地方創生の一層の推進に努めてまいります。

以上、それぞれの担務について概括的に振り返りましたが、まだまだ若輩の私がこの任期を務めることができたのは、ひとえにご支援くださる皆様のお力添えの賜物です。私一人ではとても不可能でした。本当に、感謝してもきれません。くり返しになりますが、肥田泰幸理事長、本間崇理事長をはじめ臨床工学士の皆様からのご理解とご支援にいつも勇氣と元気を頂いております。この場をお借りしてあらためて感謝申し上げますとともに、今後もより一層精進してまいりますことをお誓い申し上げます。大臣退任のご挨拶とさせていただきます。

本当に、ありがとうございます。





# 臨床工学技士の未来について

## 釜范敏先生への期待を感じて



臨床工学技士は、医療技術の進化や医療現場のニーズの変化に伴い、重要性がますます増えると考えられます。以下、主な方向性について述べます。

### 1. AI・ロボット技術と臨床工学技士の未来

人工知能（AI）やロボット技術の導入、AI技術やロボティクスの進化により、臨床工学技士が扱う医療機器がさらに複雑かつ高機能化することが予想されます。臨床工学技士には、これらの高度な機器を適切に管理・運用するスキルが求められるとともに、AIを活用した診断支援や、データ解析に関する知識の習得が期待されます。

### 2. 遠隔医療の普及

遠隔医療の拡大に伴い、臨床工学技士も機器の遠隔操作や、トラブルシューティングを遠隔でサポートする役割が増えてくるでしょう。また、患者の在宅医療における医療機器の管理やモニタリングも今後の新たな職域となる可能性があります。

### 3. 高度医療機器の操作スキルの上向

臨床工学技士は、体外循環装置や人工呼吸器、透析装置など、患者の生命に直結する高度な医療機器を扱います。これらの

機器がより高度化し、操作の専門性が高まるにつれ、臨床工学技士には最新の機器に対応するスキルと知識が必要です。また、デバイスのインターフェースや操作手順も複雑化が予想されるため、教育やトレーニングもより充実させる必要があるでしょう。

### 4. データ管理・セキュリティの重要性の増加

臨床工学技士が扱う医療機器がネットワーク化されると、機器間のデータ連携や管理も重要になります。そのため、データセキュリティやプライバシー保護の知識が求められるでしょう。また、患者の生体情報をデジタルで管理することで、リアルタイムでの状態把握や異常の早期発見が可能となります。

### 5. チーム医療へのさらなる貢献

臨床工学技士の職域は、医師や看護師、薬剤師などと密接に連携することが求められます。特に、高度な治療や集中治療室（ICU）での対応においては、他職種と協力して治療を最適化する役割がさらに重視されると考えられます。医療チームの中の専門性を活かし、患者の安全や治療効果の向上に貢献する場面が増えるでしょう。

### 6. リカレント教育やスキルアップ

医療技術の進化や業務内容の変化に伴い、継続的な学習やスキルのアップデートが必要です。臨床工学技士もリカレント教育（再学習）や資格の更新が求められ、新しい技術や知識を積極的に取り入れていくことが重要です。



## 釜范敏 (かまやち さとし) 先生プロフィール

釜范敏、群馬県出身で現在70歳。  
日本医科大学卒業後、高崎市内で小児科医院を開業。  
平成9年に高崎市医師会理事に就任後、  
平成17年に同医師会長に就任。  
平成23年からは群馬県医師会参与、平成26年からは日本医師会常任理事を務めている。  
コロナ禍においては、政府の新型コロナウイルス感染症に係る会議の委員を務め、政府のコロナ政策の策定に携わった他、テレビ番組にも多く出演し、日本医師会の考えなどについて説明を行ってきた。日本医師会の政治団体である日本医師連盟は、釜范敏常任理事を来年7月に行われる予定の次期参議院選挙比例代表選挙の推薦候補者に決定した。これを受け、日本臨床工学技士連盟も推薦することに決定している。



## 連盟の政策活動

医療職種別の就業者数と連盟の予算はいくらくらいでしょうか？

医療職種全体で、従事者数は340万人と言われております。医師は10%の34万人、看護師は40%の130万人、臨床工学技士は1%の3万人が従事しています。我々は従事者数も予算も少ないのでせめて加入率を上げて団結している団体とみて頂きたいと考えています。

職種	従事者数	連盟会員	会費	予算
医師	34万人	17万人	3万円	51億円
看護師	130万人	20万人	8千円	16億円
臨床工学技士	3万人	3千人	3千円	900万円

## お知らせ

# シン・ワンコインプランのご案内

日本臨床工学技士連盟 副理事長 小林 剛志

2022年5月、第17回全国都道府県臨床工学技士会代表者会議（茨城県）において「ワンコインプラン」を提案いたしました。その後、計画が二転三転し、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。この度、内容を整理し新たに「シン・ワンコインプラン」として正式に開始する運びとなりました。全国の都道府県臨床工学技士会の皆様には、この機会にぜひご検討いただきたくお願い申し上げます。



## プラン概要

シン・ワンコインプランは、都道府県単位で日本臨床工学技士連盟に入会することで、会費を年間500円に抑える制度です。これにより、すべての臨床工学技士が気軽に加入し、連盟の活動を支える仕組みを目指しています。

### 会員種別（2024年12月現在）

#### ①一般会員

連盟のホームページで必要事項を登録し入会

入会日：登録手続きが完了した日

会費：年間3,000円

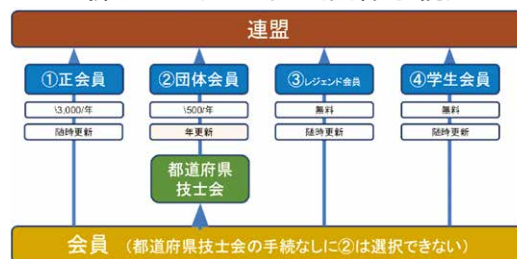
#### ②団体会員

各都道府県技士会を通じて入会

入会日：毎年1月1日（登録締切は前年12月末）

会費：年間500円

### 新ワンコインプラン（団体手続）



都道府県を分けて団体手続を進める理由  
・地域性を活かした新たな関係性を強化する。  
・中央に集中する会員や会費管理などの作業を分担し、協力体制の意識を向上する。  
・同じ目的を目指す同志として切磋琢磨を促し都道府県間の協働性と活性化を図る。

一般会員から団体会員へ移行する際には、特別な手続きは必要ありません。所属する都道府県技士会が団体参加している場合、自動的に団体会員として扱われ、会費も500円に変更されます。ただし、所属技士会が団体参加していない場合は、引き続き一般会員として登録されます。

## システムの特長

- 一般会員は個別で入会手続き・会費納入を行います。一方、団体会員は都道府県技士会が会員名簿管理・登録を代行します。
- 団体会員となるには、所属する技士会が連盟へ団体参加する必要があります。団体会員は原則、年度途中での退会は認められません。

## 申し込み方法

### 団体会員としての申し込み

#### ①都道府県技士会の確認

所属している技士会が連盟に団体参加しているか確認してください。

#### ②申し込み手続き

所属技士会を通じて申し込みを行います。必要書類の提出および会費の支払い方法については、技士会の担当者にお問い合わせください。

#### ③提出書類

以下の情報を技士会へ提供します：

氏名／住所（連絡が確実に取れる個人の住所を推奨）／  
電話番号（任意）／メールアドレス（任意）

#### ④登録締切

毎年12月末までに技士会を通じて、連盟事務局へ参加表明を行ってください。登録が完了すると、翌年1月1日から会員資格が有効となります。

### 一般会員としての申し込み

#### ①連盟ホームページから手続き

日本臨床工学技士連盟の公式ウェブサイトアクセスし、入会フォームに必要事項を記入してください。

#### ②会費の支払い

指定された方法で会費3,000円を支払います。支払いが完了した日が入会日となります。

#### ③登録内容の確認

入力した情報に間違いがないかを確認し、登録手続きを完了してください。

## 参加の意義

日本臨床工学技士連盟は、「CEの未来を創る。すべての人の笑顔を創る」という理念のもと活動を行っています。このプランを通じて、多くの臨床工学技士の結束を強め、私たちの社会的地位向上や待遇改善を目指します。「一人ではできないことも、みんなの力で成し遂げる」——これが私たちの活動の基盤です。

## 実施までの流れと注意点

### 必要な手続き

①参加希望の都道府県技士会は、前年12月末までに連盟事務局へ参加表明をお願いします。

②同時に、**参加名簿（氏名・住所・電話番号、可能であればメールアドレス）**を提出してください。

※名簿情報は、議員候補者への支援時に使用されます。そのため、住所・電話番号は確実に連絡の取れるものをご記入ください。

### 留意事項

連絡先は職場ではなく、個人の情報を登録することを推奨します。候補者事務所から電話がある場合も、「承知しました」と簡潔に対応すれば問題ありません。

# 連盟の未来に向けたお願い

理事長 肥田 泰幸



## 1. 退会増加の背景

近年、連盟を退会される方が増加しています。その背景には、「裏金問題に嫌気がさした」「自民党一色の方針に疑問を抱いている」「支援を続けても意味がない」「物価高騰で経済的に余裕がない」など、多様な理由が挙げられています。

個人の政治信条は憲法で保障された基本的な権利であり、私たちがそれを制限することはありませんし、その意思もありません。

## 2. 退会がもたらす影響

果たして退会が根本的な問題解決につながるのでしょうか？退会されたいというお気持ちは理解できますし、共感する部分も少なくありません。しかし、連盟の活動は臨床工学技士全体の地位向上と発展を目指しているものであり、この目的を達成するためには、多くの方々の協力と連帯が不可欠です。もし個人の思惑で分断されてしまうと、結果的に臨床工学技士全体の力が弱まってしまい、これまで積み上げてきた成果が無駄になっ

てしまう可能性があります。それは私たち全体にとって損失となりかねません。

## 3. 連盟のこれまでの取り組みと成果

2013年7月1日、連盟はゼロからスタートを切りました。資金も知識も人脈も組織力も何一つない状態から、私たちは地道な努力を続けてきました。

身銭を切り、地道な活動を積み重ねた結果、少しずつではありますが、確実に成果を上げてきました。

例えば、医師の働き方改革に伴う法改正によって臨床工学技士の業務範囲が拡大され、診療報酬の獲得にも成功しました。また、政治家や厚生労働省、各種業界団体との関係を構築し、社会的認知度の向上にも寄与しています。先日の税制懇談会では、連盟が最前列に位置し、多くの国会議員との対話が実現しました。

これらはすべて、連盟が築き上げた成果であり、臨床工学技士全体の未来に向けた大きな一歩です。しかし、こうした状況の中で、社会の風潮に流され、連盟が弱体化してしまうことは非常に残念

でなりません。組織を強くし、臨床工学技士全体を守り発展させるためには、時間と努力が必要です。人々の意識を変えるには少なくとも20年かかると言われています。そして、全員がまとまり、ひとつの目標を達成するためには、それ以上の時間がかかるかもしれません。

だからこそ、個人の意思を尊重しつつも、臨床工学技士全体の未来のために、皆さまのお力をお貸しいただきたいのです。

連盟の年会費は都道府県技士会でまともに入っていただく年間わずか500円（ワンコイン）です。この小さなご支援が、連盟の活動を支える原動力となります。極端に言えば、会費のみご協力いただき、個人の投票行動については自由にしていただいて構いません。連盟はそうした柔軟性を持った団体です。

## 4. 臨床工学技士としての団結と戦略

それでもなお、1%に満たない臨床工学技士の声を社会に届けるためには、多くの方々がまとまり、協力し合うことが必要です。臨床工学技士は、病院全体の中でわずか1%の割合にすぎません。この少数派の声を民主主義の仕組みの中で実現することは非常に困難です。

だからこそ、私たちは小国が団結して自国を守る「集団的自衛権」のように、

連帯を重視した活動を進めています。医師会との連携を基盤とした「コバンザメ作戦」はその一環であり、現時点ではこれが臨床工学技士の未来を切り開く最も有効な戦略だと考えています。

## 5. 内側から始める改革の力

現状の方針や連盟の運営方法に不満や疑問を抱く方がいることは理解しています。しかし、それらを変える力をつけるためには、まずは連盟が強くなる必要があります。変革を実現するには、内側からの力が必要であり、そのためには皆さまのご支援が欠かせません。現状に対する不満を建設的な意見として共有し、より良い未来を目指すための力に変えていくことが重要です。

## 6. 未来への展望と呼びかけ

臨床工学技士の未来を創るため、そしてすべての人々の笑顔を守るため、どうか連盟の活動をご理解いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。ともに歩み、より良い未来を築いていけることを心より願っています。「CEの未来を創る、すべての人の笑顔を創る」私たちには、その使命があります。そして、その使命を成し遂げるためには、皆さま一人ひとりの力が必要です。



# 事務局だより

## 新入役員の紹介



**会計担当  
高橋 良光 (新潟県)**

この度、会計を担当することとなりました、高橋と申します。連盟に関わることになったのは、約8年前に元上司が連盟のブースで精力的に入会を勧めてくださったことでした。今が良ければそれで良いはずはなく、10年後、20年後そして我々が引退したあとに臨床工学技士がどのような職種として活躍しているかは誰にもわからないからこそ、未来を見据えて今できることを一人ひとりが行動に移すことがとても大事なことをなだたかと思ひ、会員になることを決めました。一人の力では限界があるけれど、みんなで力を合わせて実現不可能なことを実現する将来への投資に感動しました。

臨床工学技士が小学生、中学生そして高校生に今よりも身近に感じられるように、そして魅力的に感じてもらえてカッコいいと思ってもらえるようなきっかけづくりができるよう、連盟の一員として取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

## 日臨工のお知らせ



日臨工in大阪でも連盟ブースあるで〜！  
みんな待ってるから、絶対寄ってや〜！

## 会員数動向

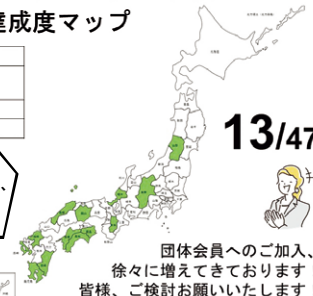


## ワンコインプラン全国達成度マップ

2023年	宮城県・愛媛県
2024年	福岡県・高知県・徳島県・鳥取県・岡山県・奈良県・山形県
2025年	福井県・長崎県・鹿児島県・長野県
2026年	???



「ひとり」では無理でも、「みんな」なら出来る。



団体会員へのご加入、徐々に増えてきております！皆様、ご検討お願いいたします！

## おっさんの料理

### 塩鶏唐揚げ



## 作り方

水500mlに塩10gを溶かし鶏もも肉を入れて3時間ほど寝かせます。それに片栗粉と小麦粉を塗して揚げながら寝かせ、2度揚げすると外サクサクの美味しい唐揚げが出来上がりました。塩水だけの美味しい唐揚げです。



## 会員情報の変更のお願い

転職や転勤などにより、会員情報に変更がありましたら、ホームページの「会員情報システム」よりお早めに修正をお願いいたします。そうすることで、最新の情報をスムーズにご確認いただけ、より充実した会員サービスをご利用いただけます。団体会員の方につきましては、所属の技士会へご連絡ください。

## 会費のお願い

皆様からの会費は、より良い活動を行うための貴重な財源です。会費のお支払いは、クレジットカード、コンビニ決済、銀行振り込みのいずれかをお選びいただけます。ご協力をお願いいたします。お支払日につきましては、クレジットカードは毎年入会月に、コンビニ決済と銀行振り込みは毎年6月末を予定しております。ご協力をお願いいたします。※団体会員の方は所属の都道府県技士会が代行徴収いたします。

## 連盟への参加のお願い

日本臨床工学技士連盟は、皆様の力によって支えられています。政治的な信条は問いません。選挙の際は、ご自身の考えに基づいて投票してください。連盟では、皆様の意見を反映させながら、より良い臨床工学技士の未来を目指して活動しています。ご意見やご質問は、ホームページの「お問い合わせ」からお気軽にご連絡ください。

また、連盟の活動にご興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。一緒に臨床工学技士の地位向上を目指しましょう！

